

産業界等と連携した学びの実践事例

学校名	岡山県立 津山工業 高等学校
実践場面	津山圏域工業会による企業ガイダンス
実践日時（時期）	令和6年1月29日（月）5・6限
対象生徒（学年）	2年生 232名
連携の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 包括連携協定（ 津山商工会議所 ） <input type="checkbox"/> その他（ ）
学びの分類	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会講師・説明会 <input type="checkbox"/> 技術指導 <input type="checkbox"/> 企業訪問・インターンシップ <input type="checkbox"/> 商品開発・共同研究 <input type="checkbox"/> 最新技術・設備の見学 <input type="checkbox"/> その他
実践の内容	
<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元就職を促進するため、生徒が地元企業の方から直接話を聞き、企業を知る機会が重要である。 ・そのような機会の一つであるジョブフェアについて、県教委が主催するものや津山市が主催するものはあるが、幅広い企業が参加するため、「工業」に特化した津山圏域の企業について認識を深める機会の創出が必要であった。  <p>【実践内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津山圏域工業会の事務局を務める津山商工会議所と相談しながら、工業に特化した津山圏域の企業に参加いただく校内企業ガイダンスの開催を企画した。 ・津山商工会議所の呼びかけにより、津山圏域工業会の会員企業14社から参加の承諾を得た。また、当日の会場準備から進行まで、全て津山商工会議所と津山圏域工業会の方が行った。 ・当日は、津山工業高校旧体育館1階を会場とし、各企業がブースを設け、生徒がそれぞれのブースを訪れて企業の説明を聞いた。 ・企業ガイダンスは1社15分の3回構成とし、1・2回目は事前の希望調査を基に振り分け、3回目はフリーとして、生徒がその場で興味を持った企業の話聞いた。 ・同時に、視聴覚教室において、「地元就職について」と題して、つやま産業支援センターによる講演会を実施した。 ・全学科の2年生が参加するため、5限は建築科・機械科・工業化学科が旧体育館での企業ガイダンス、土木科・デザイン科・ロボット電気科が視聴覚教室での講演会に参加し、6限はそれを入れ替えた。（当日、機械科は学級閉鎖のため不参加） 	
実践による効果等	
<ul style="list-style-type: none"> ・企業からは「生徒への直接説明できる貴重な機会ができありがたい。」との意見をいただいた。 ・生徒からは「多くの企業から話を聞くことができた。」「インターンシップに行った企業と同業種の企業の話が聞けて、益々興味が持てた。」などの感想があった。 	

※実践の様子が分かる写真等を適宜入れてください。（肖像権の確認等（特に企業側）は各校で行った上で提出してください。）